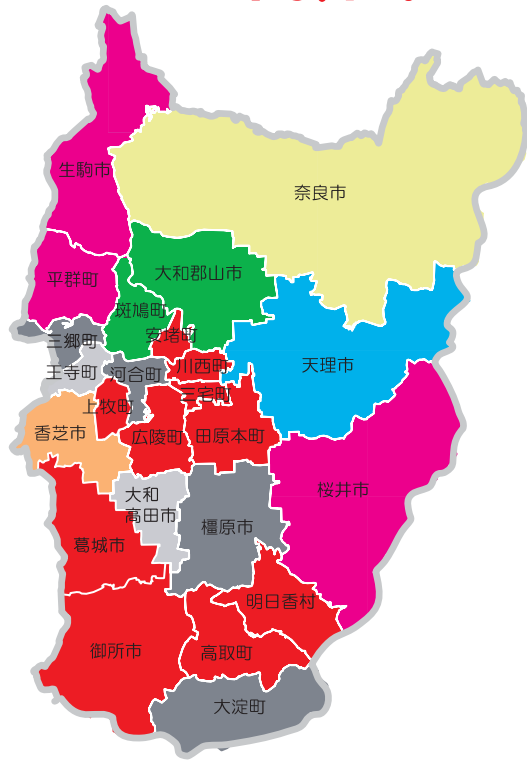


地域の状況に応じた整備計画を策定し進めています。

■ 流域の整備状況 (平成22年度末)

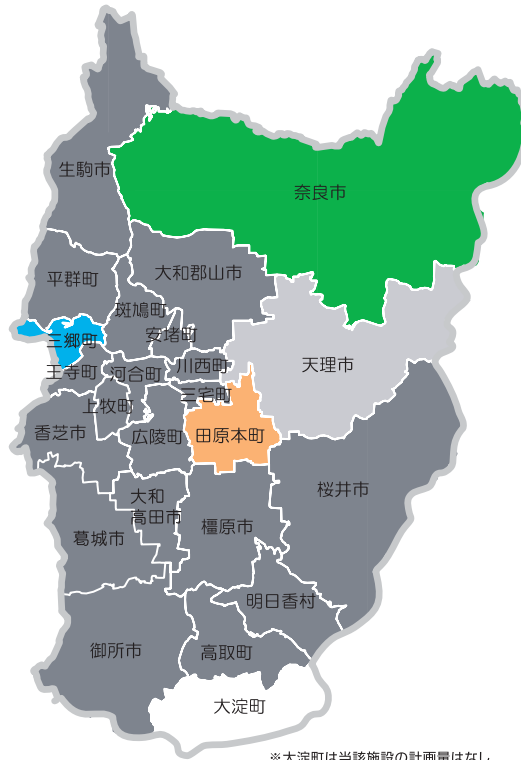
ため池治水利用施設

対策率 **73.1%**

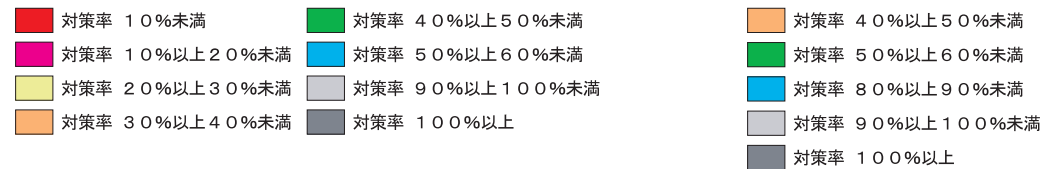


雨水貯留浸透施設

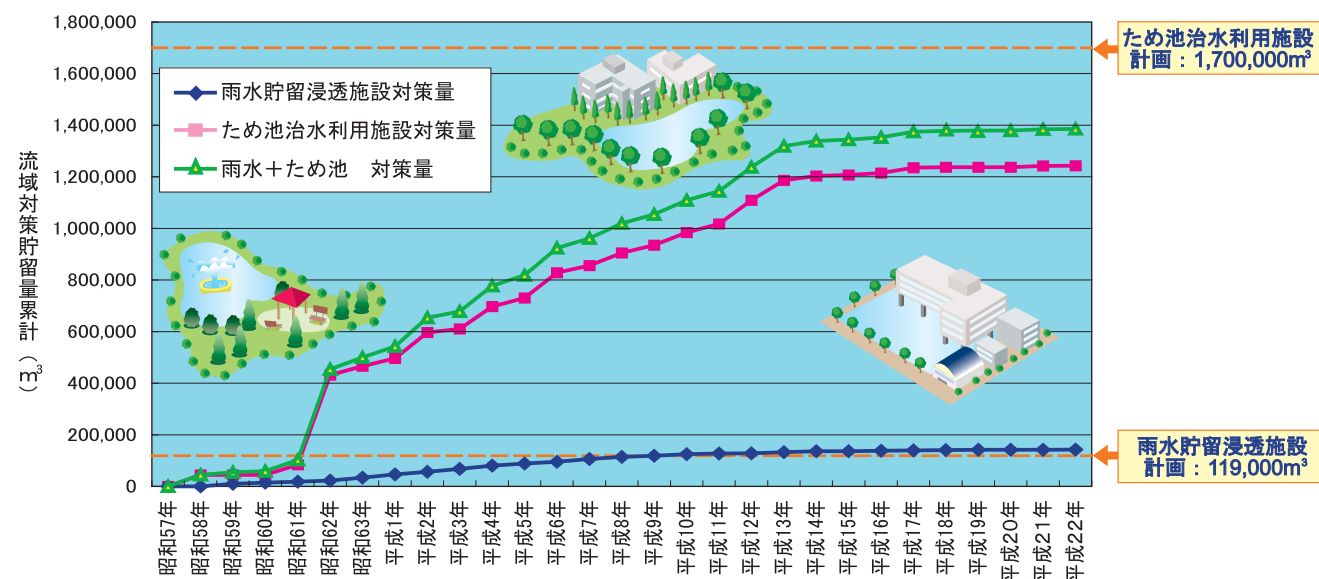
対策率 **120.0%**



※大淀町は当該施設の計画量はなし



■ 流域対策の経年変化 (平成22年度末)



浸水実績図の公開や総合治水施設推進のための各種広報・イベントなどの活動に取り組んでいます。

■ 大和川流域の浸水実績図

大和川流域では数多くの浸水被害が発生しており、中でも大きく浸水被害があった昭和57年、平成7年、平成11年、平成19年の浸水実績図を作成し、公表しています。



過去に浸水した地域を知っていただき、緊急時の避難などにお役立てください。(なお、浸水の地域については、雨の降り方や土地形状の変化などによって変わることがあります。)

閲覧方法

浸水実績図は、大和川河川事務所のHPにて公開しています。

大和川河川事務所HP URL
(<http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/>)

表示したい市町村の選択が可能です。

表示する浸水実績、「昭和57年8月」「平成7年7月」「平成11年8月」「平成19年7月」「全てを表示」「表示しない」の6種類から選択が可能です。

主な流域対策施設を「表示する」「表示しない」の2種類から選択が可能です。

■ 身近なこんなことも総合治水です。

～家庭でもできる工夫～

庭の土や植物も役立っている
庭に土や植物があると、降った雨水が一度に流れず、自然に地面にしみこんでいきます。



雨水をためて庭の水まきに
雨どいから流れ落ちる水をバケツにためておくと、晴れてから庭の水まきや花への水やりなどに利用できます。



庭にある池にも役割があります
庭にある池も、雨水をいったんためる役割を持っています。



大雨のときはお風呂の水を流すのをちょっと待って
特に大雨のときは、お風呂の水を流すのをちょっと待って、ためておくのも工夫のひとつです。



■ 積極的にPR活動を行っています。

総合治水対策の取り組み内容についての広報活動を積極的に行っています。

■ 総合治水施設広報イベント



「わくわく治水緑地フェスタ」



「曾我川らくらくウォーク」